

令和 3 年度 施策評価表

施策	1601	観光交流のまちづくり	施策担当部	産業振興部	部長	下玉利 輝幸
			施策担当課	観光振興課	課長	上野 秀徳
施策の方針	豊かな自然や歴史的・文化的な遺産等、本市の観光資源を活用し、滞在型観光やグリーン・ツーリズムの推進を図る。また、スポーツ大会などコンベンションの誘致強化に努める。					
関連するSDGsのゴール						

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 観光交流人口（年間）	千人	1,194	1,251 1,312	1,364 1,469	1,434 1,966	1,504 2,080	1,580 1,559	98.7%	98.7%
② 市内宿泊施設の延べ宿泊者数（年間）	千人	210	226 213	232 218	238 379	244 405	250 322	128.8%	128.8%
③ 市内民泊施設の延べ宿泊者数（年間）	人	406	420 315	440 382	460 246	480 555	500 114	22.8%	22.8%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

観光交流人口は、目標値とほぼ同水準となったが、新型コロナウイルス感染症等の影響に伴う観光交流人口の減少により、前年度比74.9%に止まった。

宿泊施設の延べ宿泊者数は、目標値を大きく上回っているが、新型コロナウイルス感染症等の影響に伴う観光交流人口の減少によるもののほか、長崎空港の国際便の減便または廃止による海外旅行者の減少により、前年度比79.5%に止まった。

民泊施設の延べ宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症等の影響をまともに受ける形で目標値を大きく下回った。特に、堅調であったグリーン・ツーリズムの農家民泊のインバウンド受入が皆無となり影響が大きかった。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	32,550	43,174	42,033	
	国庫支出金	0	1,207	2,415	
	県支出金	1,174	1,609	1,443	
	地方債	0	0	0	
	その他	3,415	4,478	6,242	
	一般財源	27,961	35,880	31,933	
	人件費	14,474	17,008	-	
フルコスト	47,024	60,182	-		

施策の概要

160101	歴史や自然等を活かした滞在型観光の推進	滞在型観光を推進するため、歴史・文化、自然など、本市ならではの観光資源を活用したまち歩きや体験プログラムなど、観光メニューの開発を行います。また、新幹線開業を踏まえ、県内外の観光地と連携した取組を進めます。
160102	グリーン・ツーリズムの推進	本市の豊かな自然環境等を活かした魅力的なグリーン・ツーリズムを更に推進するため、関係機関と連携し、農業体験や食育体験など、観光客のニーズに応じた体験プログラムの開発を行います。
160103	観光イベントの充実	「おおむら花まつり」、「おおむら夏越まつり」など、イベント内容の充実を図り、観光客の誘客に努めます。また、地域の祭りや行事などを観光イベントとして活用します。
160104	コンベンション誘致の強化	大村市観光コンベンション協会や長崎県観光連盟、長崎県スポーツコミッション等と連携し、各種会議・大会やスポーツ大会・合宿など、コンベンションの誘致強化に努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産に認定されたシュガーロードや2022年の新幹線開業による新たな観光素材を活用した取り組みを推進するとともに、沿線近隣市町等との観光交流を充実するなど広域的かつ一体的な連携を図るなどにより滞在型観光に繋げる仕組み作りが必要である。 ・農泊・体験型の取り組みは、本市の観光振興において国内外からの誘客が見込める重要なコンテンツであり、受け入れ体制の整備など、持続可能で安定した運営ができる仕組み作りが必要である。 ・「おおむら花まつり」については、近年、公園内の開花が早まっている状況を鑑み、開催期間の見直しが必要である。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響等により、イベント中止が余儀なくされている状況が続いており、実施の目安など観光イベントのあり方等を研究する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、コンベンション誘致件数は激減し、各種参加者数も制限等が加わり、事業成果は低水準で推移している状況である。
-------------------------	---

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シュガーロードや新幹線開業による新たな観光資源としての活用については、沿線近隣市町等との協力により取組を推進する。このほか、本市における滞在型観光素材として、ワーケーションなどを活用した観光メニューの調査・研究に取り組む。 ・農泊・体験型の取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続きインバウンドの低調が予測されるが、コロナ収束を見据えた受け入れ体制の整備や仕組み作りを進める。また、コロナ禍の中で注目されているマイクロツーリズムの進展に伴い、取組コンテンツの磨き上げや情報発信を充実し、国内や特に近隣からの誘客を図る。 ・「おおむら花まつり」や「しゃくなげまつり」は、近年の開花時期が早まっている状況を鑑み、開催時期を早めるとともに開催期間を見直す。このことに伴う、事務手続き等の変更についても事前に確認し、混乱しない仕組みを構築する。 ・今後も新型コロナウイルス感染症の影響等によるコンベンション誘致件数の低調は予測される。このため受入可能な仕組みを調査・研究する。
---	---

令和4年度新規事業

	事業名 (仮称)	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
			事業費 (千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	